

- 1 日時 令和7年11月〇日（〇） 第〇校時
- 2 学年 第4学年（組）
- 3 単元名 「語り継ごう平和への想い」【平和でヒロシマとつながる（未来へつなげる）】
- 4 単元について

**目標**

〇〇小学校の歴史を築いてきた先人や様々な形で平和を発信している人たちの取組や想い・願いを調べてまとめたり、自分の考えを表現したりする学習を通して、それらを語り継ぐことの大切さに気づき、「ヒロシマ」の子供の一人として平和を実現するために探究したことを実践できるようにする。

**目指す子供の姿**

- 〇 様々な形で平和を発信している人の取組や想い・願いを知り、それらを語り継ぐことの大切さに気付いている。
- 〇 様々な平和への取組について関心を持ち、調べて分かったことや考えたことをまとめ、表現する力を身に付けている。
- 〇 「ヒロシマ」の子供の一人として平和を実現するために、自分にできることを考え、実践しようとしている。

**現在の子供の姿**

本学級の児童は、〇〇の歴史について記念誌を使って調べたり、ゲストティーチャーの話を知ったりして分かったことを新聞にまとめ、本校の児童や教職員、シニアクラブの方々に見てもらうという経験をしている。夏には、大塚・〇〇ふれあい祭りに参加し、〇〇小の卒業生が作った歌「Peace～命のバトン～」を地域の方々に披露した。また、ゲストティーチャーの方から話をしてもらう時にお礼のプレゼントとして歌ったり、校外学習では、平和公園で観光客に向けて披露したりした。聴いてくれた方たちの反応を見て、もっと多くの方に聴いてもらいたいという意欲が高まり、歌い継いでいくことの大切さを感じられるようになってきている。アンケートによると、伝えることへの達成感や満足感を得ているのと同時に、平和への想いをもっと広げたいと考えている。

「知りたい・調べたい・伝えたい」という調べ学習に対する意欲は十分にあり、ペア学習やグループ学習などの協働的な活動を意欲的に行うことができる。しかし、自分の考えに根拠をもって話し合うことは十分にはできていない。また、たくさんの情報の中から自分の目的に合った内容を取捨選択することができず、すべてを書き写すことで満足してしまいがちである。

**単元の価値**

〇〇小学校に存在する被爆樹木を知ることきっかけに平和に対する自分の考えをどのように発信し、行動するかを考えることができる単元である。児童が関心をもった平和実現のための取組を題材にすることで意欲的に学習を進めることができる。また、書き写すのではなく、調べたことを自分のものとして表現する活動を仕組むことができる。児童は「ヒロシマ」の子供の一人であるからこそできることを考えたり、自校には語り継ぐべき樹木や歌が存在することを理解したりすることができる。また、被爆者が減っていく今、自分が語り継がなければならないのだという使命感をもつきっかけを掴むことができる。

そして、平和に対する自分の考えを語り継ぐことで平和への想いを未来につなげていくことができると考える。この学習によって、児童はこれからも一人一人が平和について考え行動し続けることが大切だと実感することができると思われる。

**働きかけ・環境設定**

平和の発信・実現には人々の努力が関係していることに気付くために、ゲストティーチャーの取組そのものだけでなく、それに対する想いや願いを掘り下げる場を設け、自分に置き換えて考えることを行う。自分で課題を設定することによって、児童一人一人が平和への発信に向けて探究的な学習を意欲的に進めることができると同時に、学習内容に応じて個人やグループ、全体交流を取り入れることで、協働的な学びが生かされ、個人の思考を深めることができると考える。

平和に対する自分の考えを語り継ぐために、実際に見たり聞いたりしたことを軸にして情報収集し、伝える相手に応じて必要な情報を選び、新聞・ポスター・動画などから自分の得意な発信方法で伝えられるようにする。また、考えを深めるために、伝え合う活動を複数回仕組む予定である。

## つながる学び

毎年広島市で行っている平和学習とつなげて、自分の考えを深められるようにしたい。まず、国語科「聞き取りメモの工夫」の学習を生かして、〇〇小に関わってこられたゲストティーチャーの方々から聞いた話を分かりやすくメモし、情報を整理する力を付けるようにした。

本単元の導入としては、理科「季節と生き物」の学習とつなげて、校内の4本の被爆樹木と出会う機会を設け、身近な「もの」に関心をもたせた。さらに、社会科「災害から命を守る」における町内会の学習や「残したいもの、伝えたいもの」で知った平和実現に向けた人々の想いや願いに、自分を重ねて考えられるようにしてきた。当たり前今の生活や「こころ（〇〇のまち）」が活気あふれるまちになることも平和への一歩なのだということに気付かせたい。

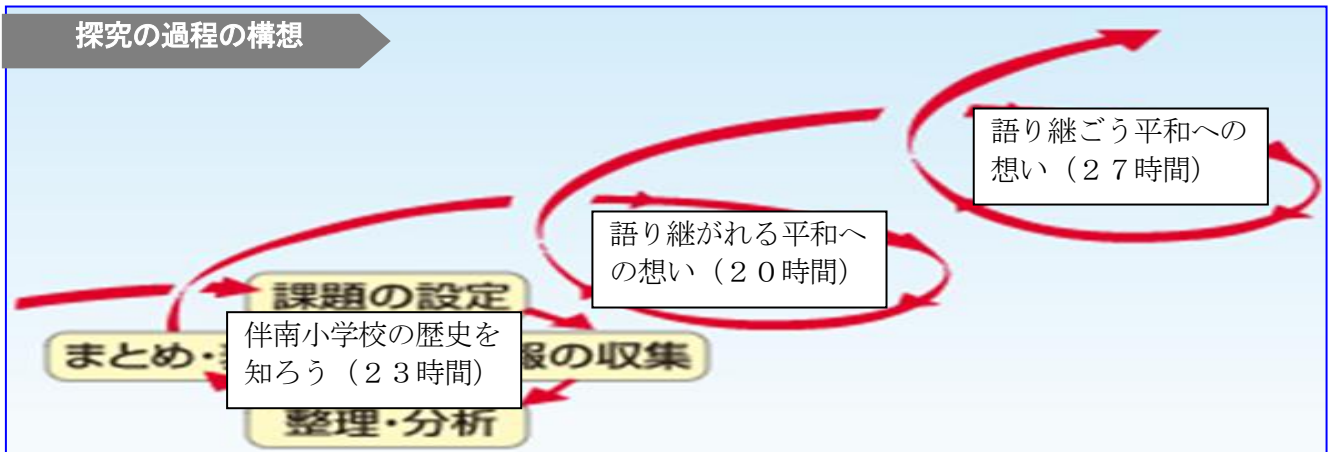
## 5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○ 様々な形で平和を発信している人の取組や想い・願いを知り、それらを語り継ぐことの大切さに気付いている。	○ 様々な平和への取組について関心を持ち、調べて分かったことや考えたことをまとめ、表現する力を身に付けている。	○ 「ヒロシマ」の子供の一人として平和を実現するために、自分にできることを考え、実践しようとしている。
① 様々な形で平和を発信している人の取組や想い・願いを知り、それらを語り継ぐことの大切さを理解している。	① これまでに学んだ平和への思いをもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。	① 友達の発言内容のよさに気づき、それを取り入れながら自分の考えを深めようとしている。
② 伝える人に合わせて内容を精選したり、表現方法を選んだりしている。	② 平和への取組を知るために、関係している人に話を聞いたり、資料を使って調べたりして情報を収集している。	② 協働的に取り組む中で、課題解決に向けて意欲的に取り組もうとしている。
③ 自分たちが知ったことを語り継いでいくことがこれからの平和の実現につながると考えたのは、平和の実現に向けて取り組む人の想いや願いについて探究的に学習してきた成果であることに気付いている。	③ 収集した情報の中から必要なものを取り出し、平和への取組について伝えたいことを考えたり、整理したりしている。	③ 平和への取組についての学習を進めながら、自分にできることを考え、実践しようとしている。
	④ 調べて分かったことをまとめ、伝える相手に合わせて、自分の考えを表現しようとしている。	

### 出会う学びの財・環境（ひと・もの・こと）

ゲストティーチャー（西村先生【初代校長】、竹本先生【校歌作曲者】、矢川さん【被爆ピアノ調律師】、手島さん【被爆樹木を植樹してくれた人】、太田さん【被爆体験継承者】、正本さん【樹木医】、渡部さん【Ant-Hiroshima】、校内の被爆樹木、〇〇小の歌「Peace～命のバトン～」、〇〇小記念誌（10周年・20周年）、平和公園での校外学習

6 指導と評価の計画 (全70時間)




	小単元1 〇〇小学校の歴史を知ろう	小単元2 語り継がれる平和への想い	小単元3 語り継ごう平和への想い
課題の設定	〇〇小学校の歴史や被爆樹木・平和の木に興味・関心を持ち、調べてみたいことを考える。(思①) (2 h)	〇〇小学校に存在する被爆樹木やそのほかの場所に存在する被爆樹木1世・2世について知りたいことややってみようことを考える。(思①) (2 h)	これまでの学習を振り返りヒロシマの子供として自分が語り継ぎたい平和への想いやその方法を考える。(思①) (2/3 h)
情報の収集	10年誌、20年誌、航空写真などを基に情報収集に取り組む。(思②) 〇〇小学校に関わりのあるゲストティーチャーのお話を聞く。(知①) (9 h)	ゲストティーチャーから被爆ピアノや被爆樹木についての話を聞き、活動内容や想いを知る。また、被爆樹木を観察したり、被爆樹木1世、2世について調べたりする。(思②) (8 h)	自分が平和を語り継ぐために必要な情報収集に取り組む。(知③) (5 h)
整理・分析	〇〇小学校の歴史について学習したことを伝え合い、自分の考えを広げる。また、分かったことが相手に伝わるように新聞の内容を整理・分析する。(思③) (4 h)	被爆ピアノや被爆樹木について学習したことを伝え合い、自分の考えを広げる。また、リーフレット等の内容を整理・分析する。(思③) (2 h)	平和への想いを語り継ぐために調べたことを、伝える相手や目的に合わせて整理・分析する。友達と伝え合う場を繰り返し設けることで、語り継ぎたい内容を精選したり改善したりして、自分の考えを深める。(知②, 主①) (6 h)
まとめ・表現	これまでの学習で伝えたいことや自分の考えを個人で新聞にまとめる。新聞を伝えたい相手に見てもらおう。相手からもらったコメントを基に活動を振り返り、これからの活動への意欲につなげる。(思④) (8 h)	〇〇小学校の被爆樹木について伝えたいことを個人でリーフレット等にまとめ、自分の平和に対する考えを他校の同学年や保護者に発信する。アンケートを基に活動を振り返り、これからの活動への意欲につなげる。(主③) (8 h)	語り継ぎたい平和への想いを個人やグループでまとめ伝える相手を意識した表現方法で発信する。1年間の学習を振り返り、自分の生き方について考える。(思④, 主②) (13 h)

## 7 本時の目標

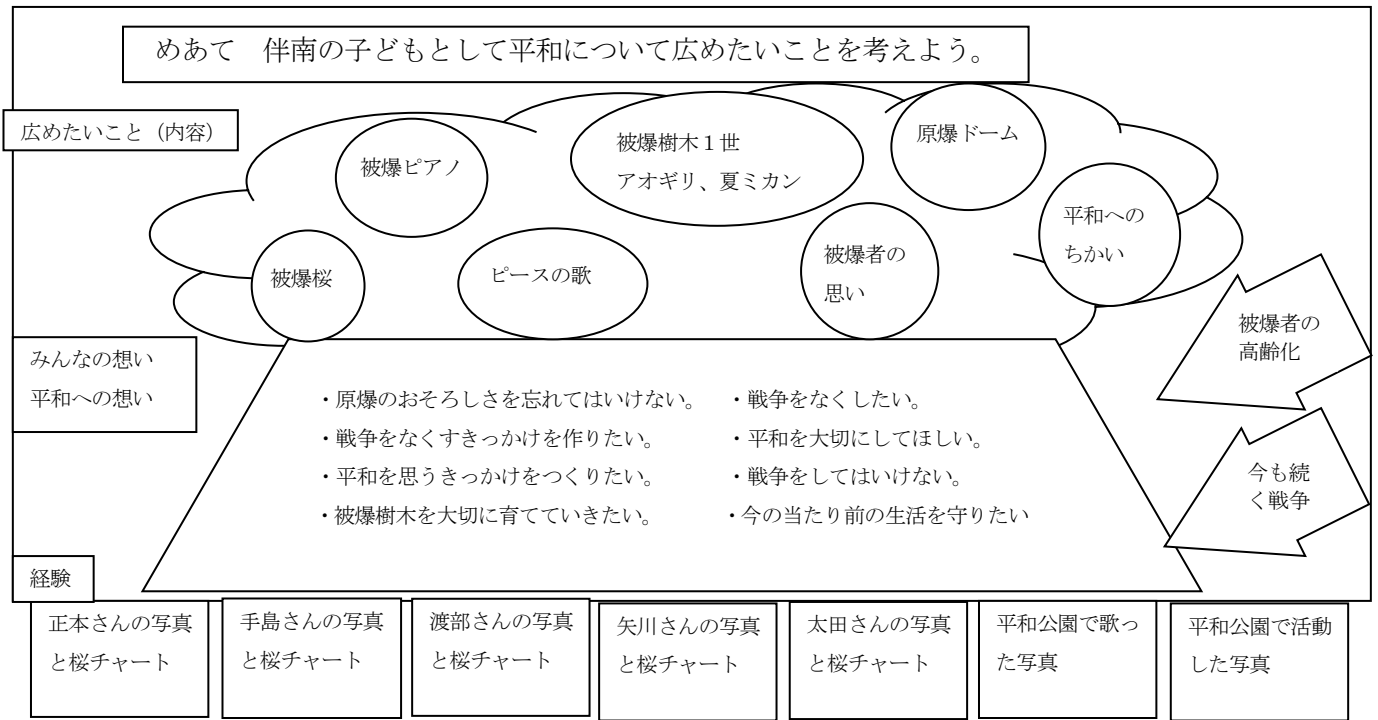
ゲストティーチャーの話や活動などから学んだことを振り返り、ヒロシマの子供として自分が語り継ぎたい平和への想いやその方法を考える。

【思考・判断・表現①】

## 8 本時の学習展開

学習活動	働きかけ（目指す子供の姿のために）
1 これまで学習してきたことを振り返る。 2 めあてを確認する。	○ 本時の活動につながるように、掲示物を示しながら振り返ることで、これまでの学習内容について想起することができるようにする。
<b>伴南の子どもとして平和について広めたいことを考えよう。</b>	
3 ゲストティーチャーの方の想いやこれまで学んだことを確かめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">竹本先生は、原爆によってお父さんを亡くして、今でもお父さんを返してほしいと思っている。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">手島さんは、これからの未来を担う子どもたちに戦争を繰り返さないように、話をして回っている。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">矢川さんは、平和の実現を目指して被爆ピアノの音色を日本全国に広げていました。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">渡部さんは、被爆樹木の種や苗を世界中に送って平和の実現のために活動されている。</div> 4 「ゲストティーチャーの活動や想い」や「自分が学んできた学習」から、自分がどんなことを伝えたいのか、どんな想いを知ってほしいのかを理由を含めて考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">              ピースの歌を広島市の他の学校の人にも知ってもらいたい。           </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">貴重な被爆桜の存在を、もっと多くのこころの人たちに知ってもらいたい。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">竹本先生のような被爆者の方の悲しさや苦しみを語り継いでみたい。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">被爆ピアノの存在や矢川さんの活動をもっと多くの人に知ってもらいたい。         </div>	○ 自分の想いをもてるように、ゲストティーチャーがどんな想いで取り組まれていたかを確認する。 ○ 自分事（〇〇の子ども）として考えられるように、これまで学習してきたことを教室の掲示物から確認させる。特に、〇〇小学校にあるもの（被爆樹木とピースの歌）と関連付けて考えることができるようにする。 ○ いろいろな考えを交流できるように、児童だけの言葉でつなげる発言（リレートーク：自由発言）を用いたり、アクティブリアクションを促したりする。 ○ 前時までのワークシートを振り返り、「ゲストティーチャーの活動や想い」や「自分が考える平和とは何か」について個人で確認させる。 ○ 被爆ピアノや〇〇小学校に残る被爆桜、自分の考える「平和」を具体化できるように、板書の構造化を図る。
<b>本時の見どころ【教師のファシリテート】</b> <b>★構造的な板書を行い、児童の思考の流れを支援することで、意見を関連付けさせたり、話題を発展させたりする。</b>	
5 本時の学習を振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">             伴南小学校にある被爆桜を語り継ぎ、もっとたくさんの人に知ってもらいたい。ピースの歌を伴南小学校の取組の一つとして知ってもらい、他の学校の人にも平和への取組をしてもらうために、広めてみたい。           </div> 6 次時の活動を知る。	○ 表現方法や対象となる相手は、次時に詳しく考えることとする。もし、発表の中で出てきても板書はせずメモをとっておいて、次時以降に生かす。 ○ 「〇〇の子ども」として自分が語り継ぎたい平和への想いやその内容を考え、見通しをもつ。 ○ 次時の意欲につながるように、考えたことをいろいろな人に伝えるための準備をしていくことを伝える。

## 8-1 板書計画



## 9 本時の評価規準と目指す子供の姿

本時の評価規準	目指す子供の姿
<p><b>【思考・判断・表現①】</b>                      これまでに学んだ平和への取組をもとに課題をつくり、解決の見通しをもっている。                      (発言・行動・ワークシート)</p>	<p>○ ゲストティーチャーから教えてもらった活動や想いから、自分が伝えたいことや想いを考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 被爆桜が〇〇小学校にあることをこころのまちの人たちに伝えたい。</li> <li>・ 歌「Peace～命のバトン～」をもっと多くの人に知ってもらいたい。矢川さんのように、いろんなところに行くことはできないけれど、誰かに発信してみたい。</li> <li>・ 被爆桜やキョウチクトウの表示をつくって、これからの〇〇小学校の子どもたちに語り継ぎたい。</li> <li>・ 平和資料室に学んだことを掲示したい。そして、もっとたくさんの人に来てもらえるように呼びかけたい。</li> </ul>

## 10 本時の見どころ

- ・ 児童の言葉のつながりによるリレートーク（自由発言）で、思考の広がりや深まりが見られたか。
- ・ 板書の構成（〇〇型桜チャート）が児童の思考に沿ったものや学習の流れがより見えやすいものになっているか。